

認定権者記載欄


様式第5-(イ)-⑨

中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定による認定申請書 (イ-⑨)

令和 年 月 日

相馬市長

住所  
氏名

印

(名称及び代表者の氏名)

私は、表に記載する業を営んでいるが、新型コロナウイルス感染症の発生の影響に起因して、下記のとおり、\_\_\_\_\_ (注2) が生じているため、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定に基づき認定されるようお願いします。

(表)


※表には、営んでいる事業が属する業種(日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名)を全て記載(当該業種は全て指定業種であることが必要)。当該業種が複数ある場合には、その中で、最近1年間で最も売上高等が大きい事業が属する業種を左上の太枠に記載。

記

売上高等

(イ) 最近1か月間の売上高等

減少率 \_\_\_\_\_ % (実績)

$$\frac{C-A}{C} \times 100$$

A: 申込み時点における最近1か月間の売上高等 \_\_\_\_\_ 円

B: 令和元年10月から12月の売上高等 \_\_\_\_\_ 円

C: 令和元年10月から12月の平均売上高等 \_\_\_\_\_ 円

$$\frac{B}{3}$$

(ロ) 最近3か月間の売上高等の実績見込み

減少率 \_\_\_\_\_ % (実績見込み)

$$\frac{B-(A+D)}{B} \times 100$$

D: Aの期間後2か月間の見込み売上高等 \_\_\_\_\_ 円

(注1) 本様式は、1つの指定業種に属する事業のみを営んでいる場合、又は営んでいる複数の事業が全て指定業種に属する場合であって、業歴3ヶ月以上1年1ヶ月未満の場合あるいは前年以降、事業拡大等により前年比較が適当でない特段の事情がある場合に使用する。

(注2) には、「販売数量の減少」又は「売上高の減少」等を入れる。

(注3) 企業全体の売上高等を記載。

第 号

令和 年 月 日

申請のとおり、相違ないことを認定します。

認定者名 相馬市長 立谷 秀清

(注) 本認定書の有効期間: 令和 年 月 日から令和 年 月 日まで

(留意事項)

- ① 本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。
- ② 市町村長又は特別区長から認定を受けた後、本認定の有効期間内に金融機関又は信用保証協会に対して、経営安定関連保証の申込みを行うことが必要です。

(添付書類) 様式第 5-イ-⑨

中小企業信用保険法第 2 条第 5 項第 5 号の規定による認定に係る売上高等の算出根拠

令和 年 月 日

相馬市長 様

(表 1 : 事業が属する業種毎の最近 1 年間の売上高)

主たる事業が属する業種は \_\_\_\_\_ (※ 1)

業種 (※ 2)	最近 1 年間の売上高	構成比
業	円	%
業	円	%
業	円	%
業	円	%
企業全体の売上高	円	100%

※ 1 : 最近 1 年間の売上高が最大の業種名 (主たる業種) を記載。

※ 2 : 業種欄には、営んでいる事業が属する全ての業種 (日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名) を記載。細分類業種は全て指定業種に該当することが必要。

	① 最近 1 か月間の売上実績とその後 2 か月間を含む 3 か月間の 売上高等の実績見込み		② 令和元年 10 月~12 月の 売上実績と平均
令和 年 月	(実績額) 【A】 円	令和元年 10 月	(実績額) 円
令和 年 月	(見込額) 【D】 円	令和元年 11 月	(実績額) 円
令和 年 月	(見込額) 【D】 円	令和元年 12 月	(実績額) 円
合 計	【A + D】 円	合 計	【B】 円
		平均/月	【C】 (合計 ÷ 3) 円

※災害発生以降の最近 1 か月間の売上高の実績額と、その後 2 か月間の見込額 (計 3 か月間)

上記のとおり相違ありません。

住 所

氏 名

(名称及び代表者氏名)

印